

血管内治療を受けられる患者様へ（前日入院）鼠径部穿刺

<予定入院期間 3~4日間> 1枚目(全1枚)

大腿動脈穿刺（前日入院・術後2日間） パス

日数	入院当日・治療前日	治療当日			治療翌日	2日後
		治療前	治療中	治療後		
治療 処置	穿刺部の剃毛を行います。観察のため足の甲の動脈に印をつけさせていただきます。	治療室には手術着で入室します。眼鏡・指輪・時計などはあらかじめ外してください。入れ歯のある方は事前にお伝えください。貴重品はセーフティーボックスをご利用ください。 	点滴の管を装着し、心電図や血圧計などのモニターをつけ、治療を行います。	ガーゼやテープ・バンドでカテーテル穿刺部の圧迫止血を行い、ストレッチャーで病室に戻ります。心電図モニターを医師の指示があるまでつけます。出血予防のため、固定しているガーゼやテープ・バンドは翌朝まで固定したままとなります。固定が痛む時は、看護師にお知らせください。	カテーテル穿刺部位を医師が確認し、圧迫を解除します。解除後は絆創膏を貼ります。 医師の許可後、退院となります。 (検査翌日の場合と2日後の場合とがあります。)	
	普段服用している薬を持参していただき、その内容を確認させていただきます。入院前より中止する薬がある場合は指示通り中止されているか確認します。	普段服用している薬がある場合は、その内容により朝分または昼分の内服をしていただきます。服用する薬はお伝えします。 		病室に戻り、点滴が医師の指示があるまで続きます。治療中使用する造影剤は尿から排泄されます。そのため、水分を多めに摂ってください。		内服する薬の内容が変更となる場合があります。その際は説明をいたします。
検査	レントゲン・心電図・血液検査・尿検査・心エコー・ABI（四肢血流検査）などの検査があります。（事前に終了している場合は行いません）病状により検査の内容が異なることがあります。検査を行う場合はその都度声をお掛けします。両手の血液の血流を確認します。 			帰室時に12誘導心電図検査を行う場合があります。	ABI（四肢血流検査）があります。 ※採血・採尿・12誘導心電図検査を行う場合があります。その際はお伝えいたします。	
安静度	特別制限はありませんが、検査と医師からの治療についての説明が終わるまでは、なるべく病室でお待ちください。	治療室までは看護師と一緒に歩いて行きます。事前に声をお掛けしますので、排尿を済ませておいてください。  		病室に戻り、6時間はベッド上で上を向いたまま安静になります。ベッドの頭側は20度まで上げることができます。穿刺した側の足を曲げないようにしてください。6時間後から翌朝まではベッド上で寝返りや座ることが出来ます。 	1週間位は穿刺した側の足を激しく動かさないようにしてください。 	
食事	塩分制限食になります。状態により、栄養指導が計画されます。ご希望があれば受けることもできますのでご相談ください。	()は禁食です。治療時間によっては、食事を半量程食べていただける場合があります。		ベッド上で上を向いたままの安静の時に食事となった場合は、食べやすいように準備やお手伝いをします。		
清潔	制限はありません。				シャワー浴ができます。	
排泄	制限はありません。			翌朝までベッド上での排泄になります。		
説明	医師から治療についての説明があります。承諾書をご確認の上、ご署名ください。		治療中の排尿は我慢せずに、看護師へ伝えてください。治療室には医師・看護師がいます。何でも相談してください。 	医師より治療結果の説明、もしくは説明の日の予定を決めさせていただきます。	退院後に気をつけていただくことや、次回外来日について看護師よりお伝えします。	
その他	ネームバンドを手につけさせて頂きます。	処置、検査、点滴、安静の内容が変わる場合があります。その際は適時説明をいたします。		適時説明をいたします。		お大事になさってください。

入院・検査に関してご質問などありましたらお申し出ください。上記は一般的な経過です。状況により変更となる場合があります。